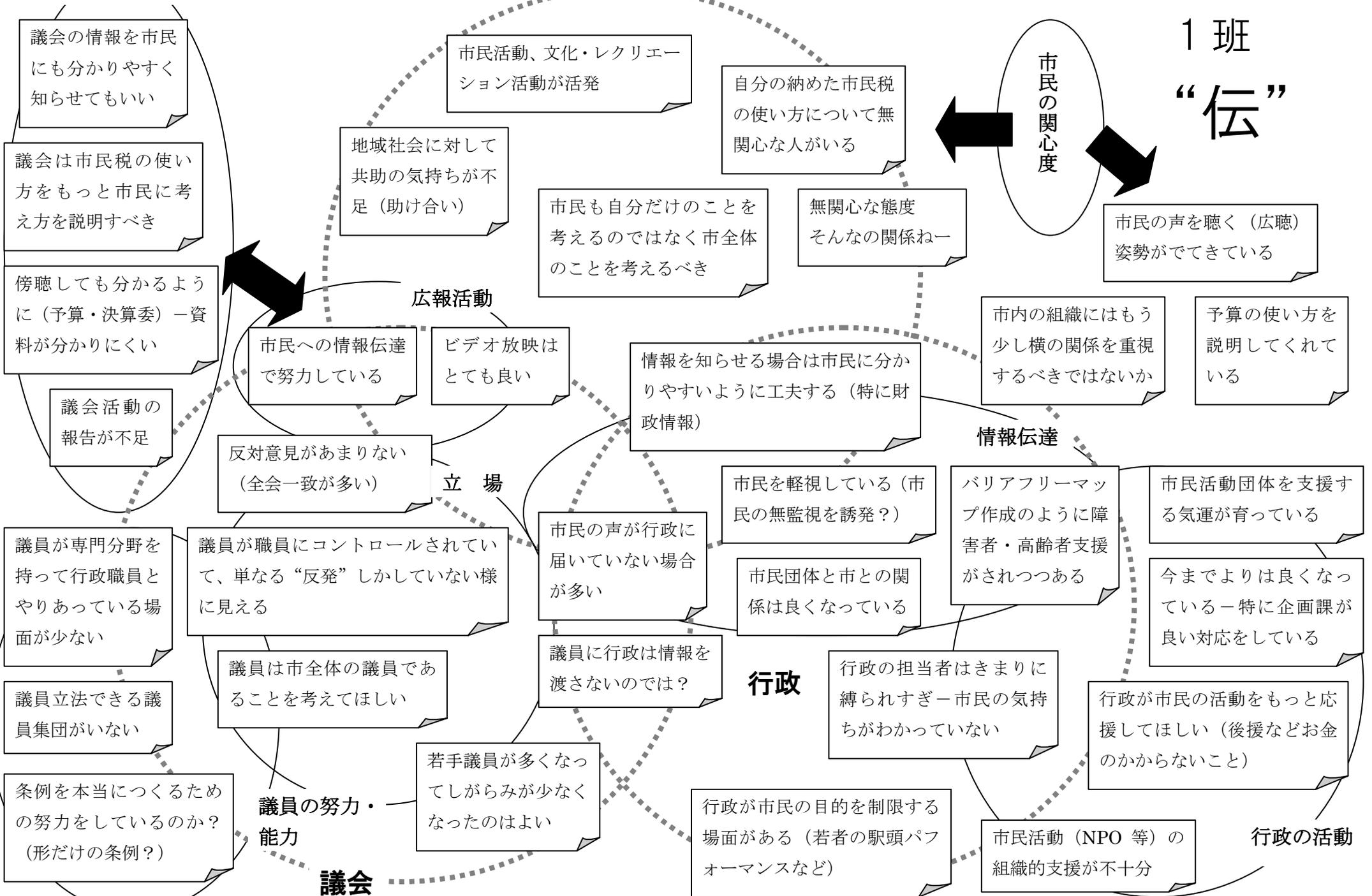


伝達の問題点

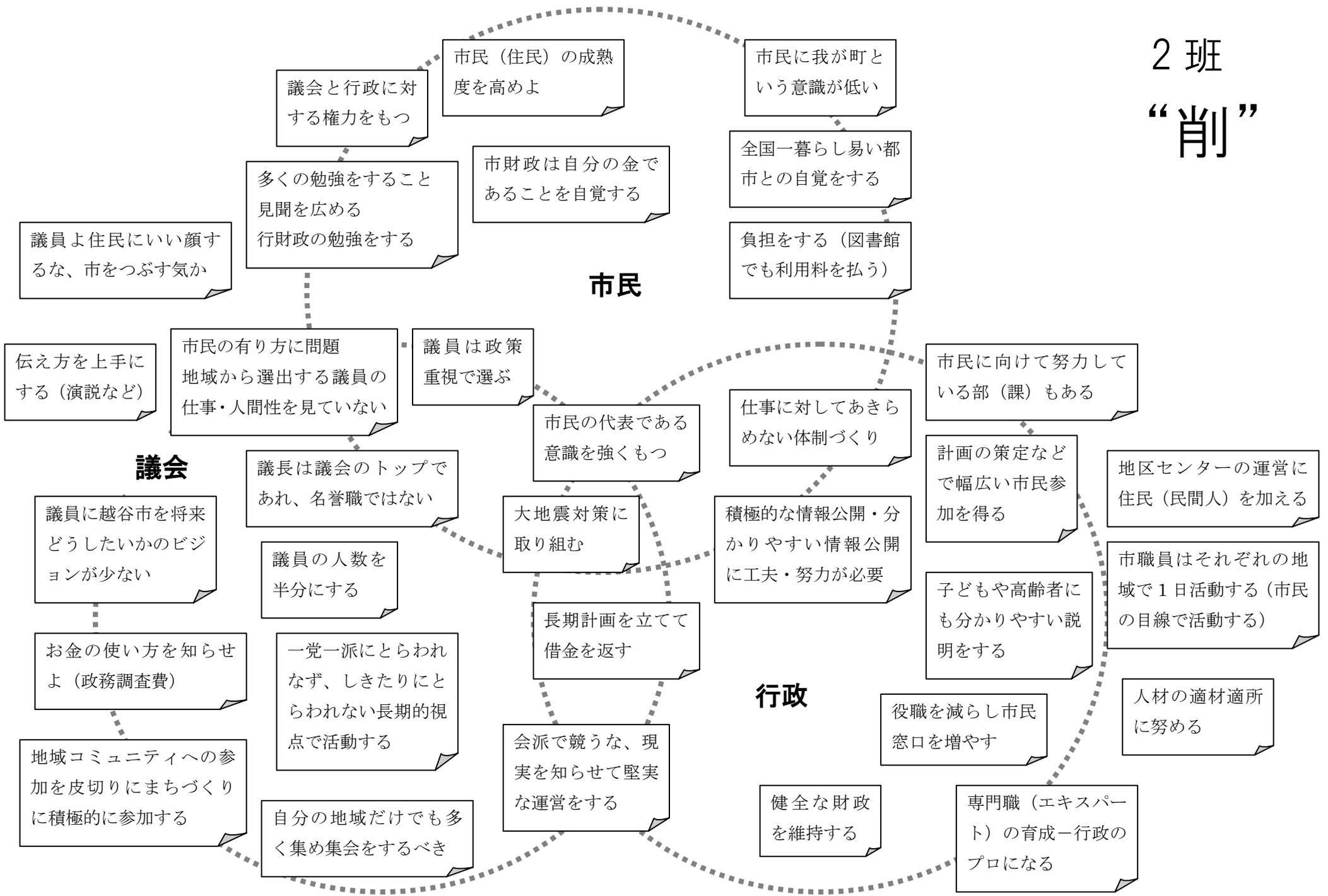
市民

1班  
“伝”

市民の関心度

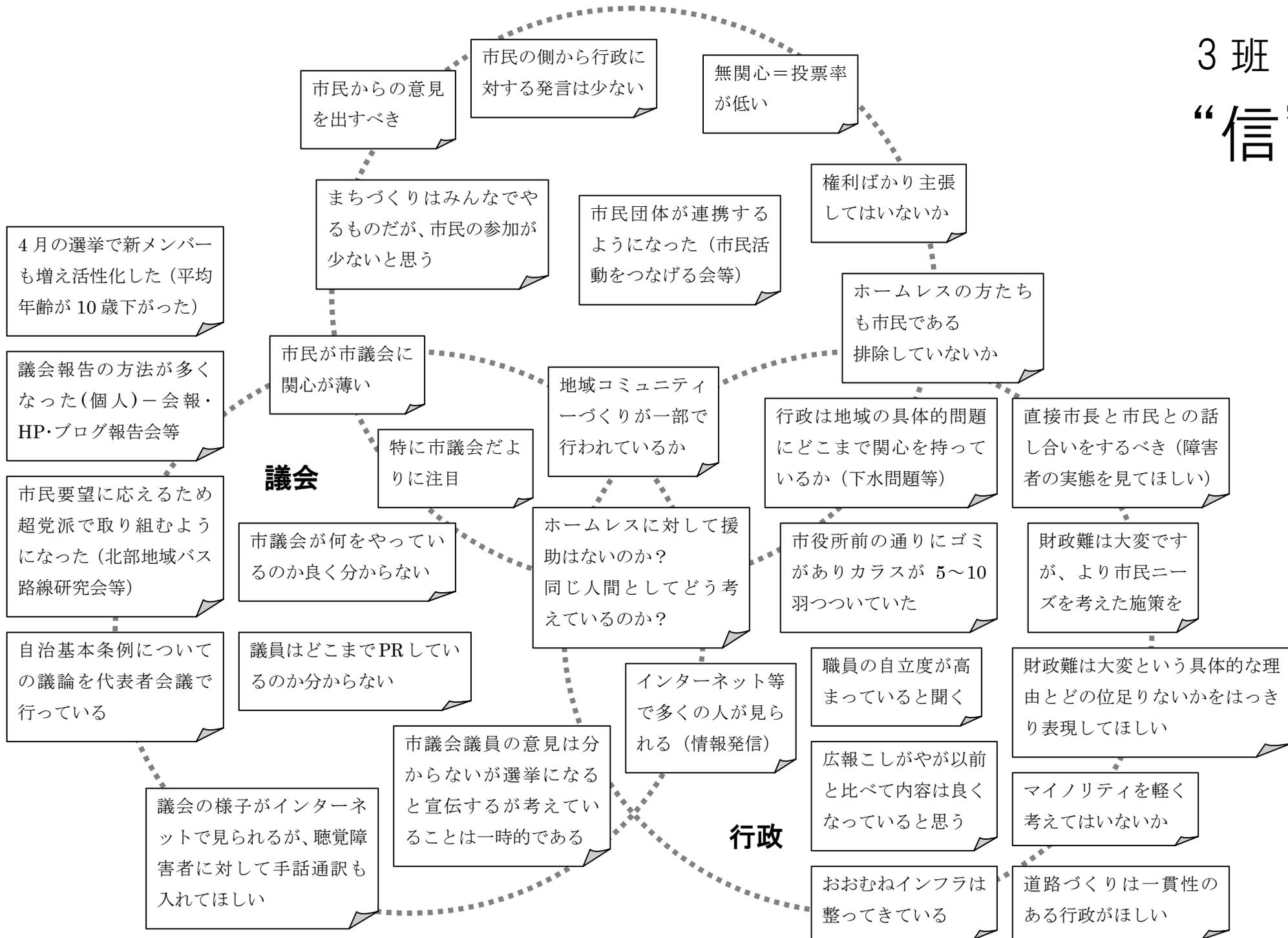


# 2班 “削”



# 市民

## 3班 “信”



# 4班 “連”

## 市民

旧住民、新住民、中間住民との一体感にやや難がある  
旧住民—越谷で生まれ育った世代  
新住民—最近越谷市民となった世代  
中間住民—越谷で育った世代

住民同士の連携がもっと強化されるべき

自治会活動に積極的に取り組んでおりこれをもっと進めてほしい

公共の場では他人のことも考えて行動するべき

近くの公園など、自分の周囲の清掃は、自分たちでやるべきだ

町会・自治会活動、地域の清掃など協力体制が良い

行政への苦言を言うだけで義務を怠る

市民と市長の関がもっと緊密であってほしい(市長と市民との直接対話)

行政からの回答が分かりにくい

議会の内容情報が市議会だよりだけでは不十分

「プライバシー保護法」に縛られて防災などの対策が十分に機能しない

市民の行政に関する協力が少ない

市民力をもっと利用してほしい(協働を形に)

職員の窓口対応が良い

議員は条例について、もっと身近に関心をもってもらう様、より努めてほしい(説明会の開催)

派閥の枠に縛られて市民の要望が制約されがち

広報のあり方(方法)を再考する

予算の弾力的活用を考慮するべきではないか

市長の顔が見えにくい(表情が暗い)

支持者以外に活動のPRが届きにくい

問題が「ない」のではなく「見えない」

職員間の情報の共有化

教員の雑務が多すぎる  
専門知識を持った、一般職員であってほしい

女性議員の登用が少ない(何が原因?)

今までの制度や方法をそのまま行うのではなく、今の時代に合うように見直すべき

少数派の主張を丁寧に聞く

## 議会

## 行政